

開催報告【ハイブリッド】令和6年度 質量分析講習会 -マススペクトル解析演習 2-

【開催日時】 2024年12月6日(金)、13:30～16:00 (途中参加・途中退室可)

【場所】 鳥取大学 (鳥取キャンパス)、WEB ミーティング(ZOOM)

【世話人】 質量分析技術者研究会 講習会担当：大阪大学 三宅里佳、
奈良先端科学技術大学院大学 西川嘉子、鳥取大学 横野瑞希、
北海道大学 岡征子、名古屋大学 瀧健太郎

【講師】 高橋 豊 氏 (エムエス・ソリューションズ株式会社)

【参加対象者】 MS測定経験者および今後、測定する予定のある方。

【参加者】 25人 (現地12人、オンライン13人)

【プログラム】

13:30-16 : 00 (途中休憩あり)

13:30-13:35 開会の辞、趣旨説明

13:35-13:50 マススペクトルの読み方について (おさらい)

13:50-14:35 解答打ち合わせ

※事前に分けた班で課題の答え合わせを行います。オンライン参加の方はブレイクアウトルームを使用します

14:35-14:45 休憩

14:45-15:50 発表

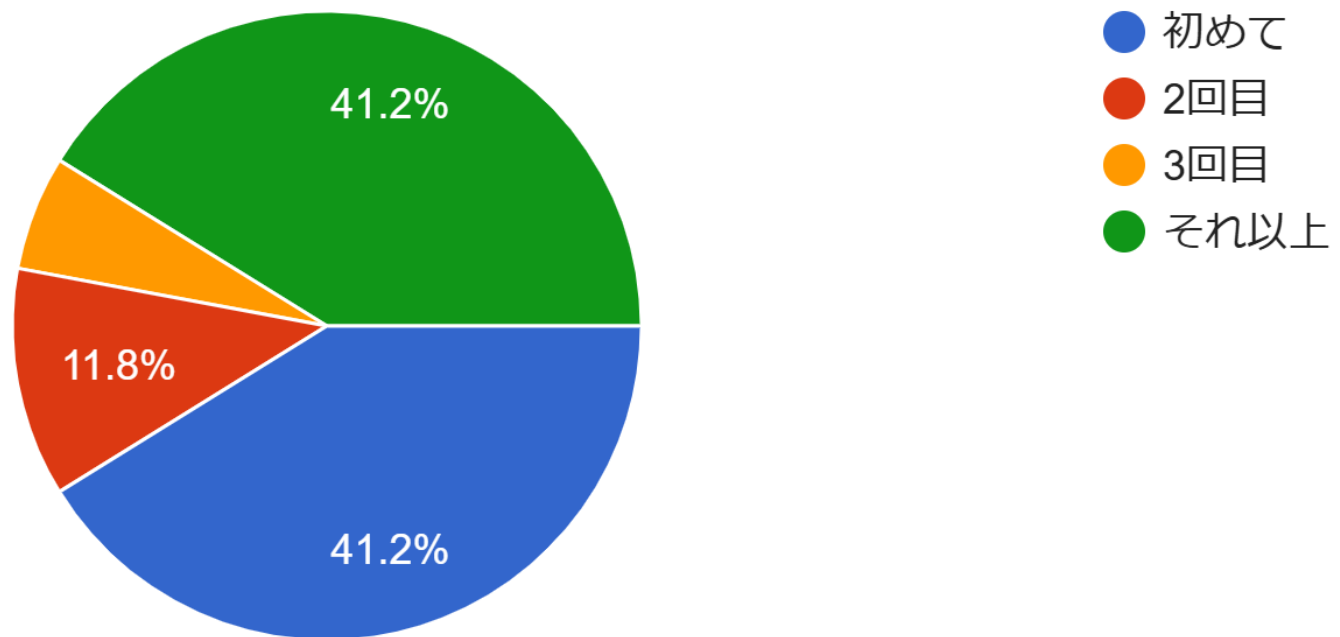
15:50-16:00 解説、Q&A

(現地のみ)

16:15-17:00 施設見学

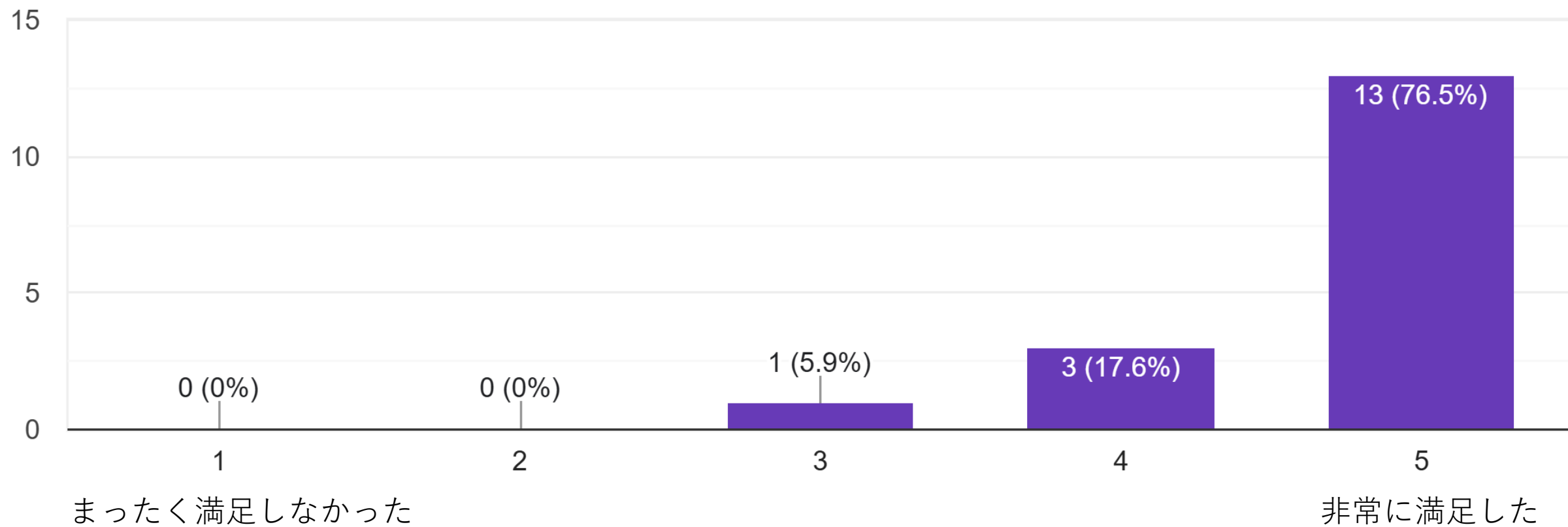
設備ネット 質量分析講習会への参加は初めてですか？

17件の回答



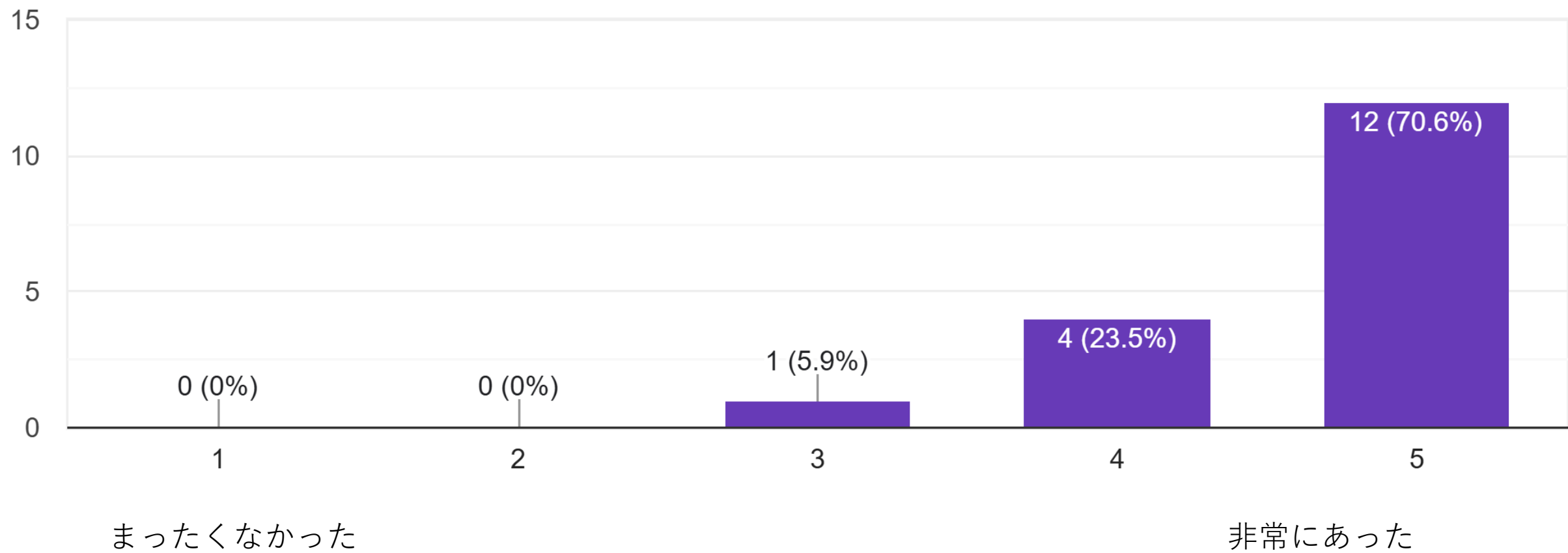
セミナーにはどのくらい満足されましたか。

17件の回答

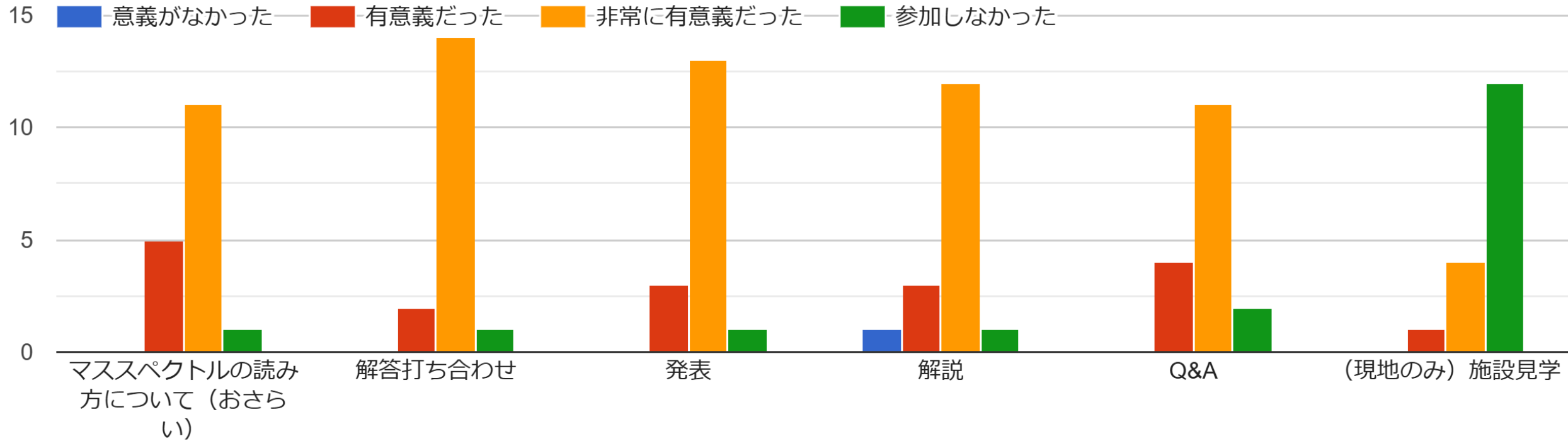


ご自分の仕事との関連性や、仕事に役立つ部分がありましたか。

17件の回答



セミナーの各セッションは、どのくらい有意義だと感じましたか。



このセミナーの感想をご自由にお書きください。

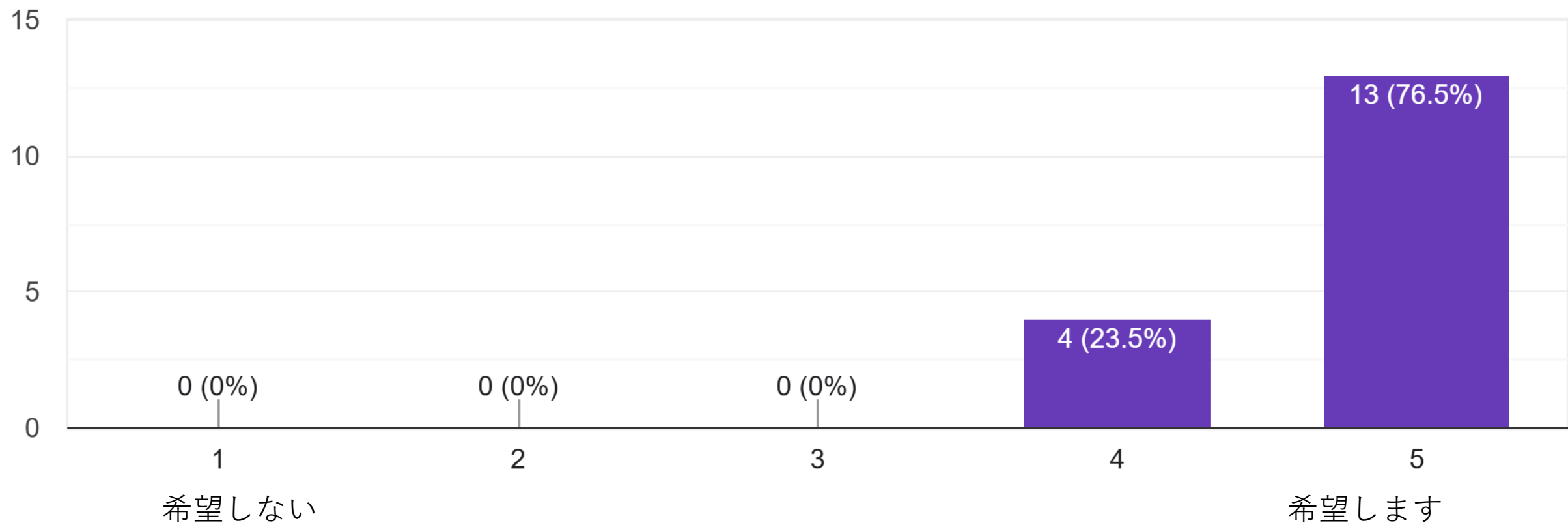
- 様々なイオン化法で得られたマススペクトルから構造解析する方法を理解することができ、大変勉強になりました。
- まだまだ勉強不足であると感じましたので、定期的を開催していただき、質量分析に関する理解度を把握したいです。
- 普段はあまりマススペクトルをじっくり解析するということがなく、今回のような演習で勉強する機会を設けることができ、良かったです。解析方法についてはきちんと教わったことがなく、また周りにちょっと質問したり相談したりできる人がいないので、自分の考え方や解釈が合っているのか、どういう手順で進めていくのが良いかなど、セミナーの中で確認しながら学ぶことができ、とてもためになりました。ありがとうございました。
- 班での解答打ち合わせは初めてでしたが、とても勉強になりました。今後もこの形式を続けてほしいです。
- 三宅様をはじめ、まとめ役の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。
- グループ内でのディスカッション時間が多く取られていたのが良かったです。内容を理解している方に気軽に質問ができ、多くの疑問点を潰すことができました。これが全体1グループだとしたら質問できなかったと思います。

このセミナーの感想をご自由にお書きください。

- たいへんお世話になり、ありがとうございました。
- 解答発表いただいた皆様の解説の完成度が高かったです
- グループワークがあるのでかなり過酷であろうと覚悟してましたが、結果すごく良かったです。いろんな人の説明が聞けてとても勉強になりました。でも課題が出てグループワークでやるとわかって以来当日まで辛かったです。
- オンラインと迷いましたが、現地で手取り足取りしてもらうのがいいよと西川さんにおすすめていただいて参加しました。みんなで顔を突き合わせて解答を導いたのは、とても有意義な時間でした。
- 構造解析の課題を実際にする事で、今まで考えていなかった事を考えたり気づきがあったりして有意義でした。グループワークや各班の発表を聞いたのも良かったです。
- 急な打ち合わせのため参加できませんでした。失礼しました。
- 質量分析については全くの素人でしたが、班でリードしていただいた方の説明が素晴らしく、初学者の私にもとてもわかりやすかったです。感動しました！
- 未知構造の推定などを行う機会があまりないため、着眼点など大変参考になりました。今回は官能基などやや優しくめに設定してくれていたと思うので、次回があればもう少し難しい構造などにも取り組んでみたいと思いました。

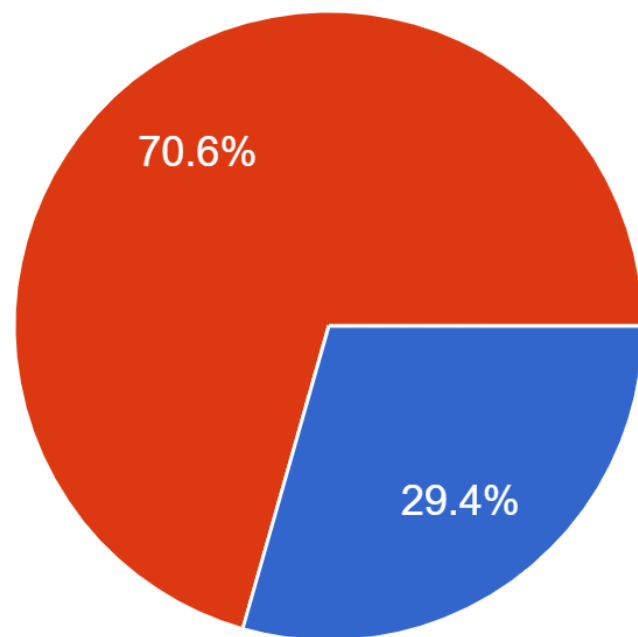
今後もこのようなセミナーの開催を希望されますか。

17件の回答



今後の開催形式について、どのような形を希望しますか？

17件の回答



- オンライン希望
- オンラインと現地開催のハイブリッド形式希望
- 現地開催希望

今後企画してほしいセミナー内容やご意見ございましたらご記入ください。

- 以前にも開催されていた「NMRとMSの相互活用」の講習会を、可能であればハイブリッドなどで企画いただけると嬉しいです。
- MALDI-TOF-MSでのマトリックスや溶媒の選択について（素人なため、これをセミナーにする意味があるかどうかも分かりません）
- 今回のようなグループワークでの発表形式のもの（辛いけど）
- NMRとMSの両方を利用した解析講習があれば嬉しいと思います。この2つが主に利用している機器分析になりますので、その使い方や読み方のおさらいや経験的な所も聞けると面白いと思います。
- 元素分析、ICP-MS

